

科目区分	専門教育科目	科目名	栄養学Ⅱ（ライフステージと栄養）		科目コード	18S530	担当者	玉記 雷太			
対象学生	栄養士コース 1年生		学期区分	後期	単位数	2	担当形態	単独			
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件	選択				
						免許・資格要件	栄養士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
ヒトが一生涯の間に変化する体の構造や機能に合った栄養の摂り方を学ぶ。 栄養状態の評価や判定の仕方を習得する。						1. 「 尽心 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・判断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	栄養ケア・マネジメントを理解する。					◎	◎	◎		◎	○
2.	日本人の食事摂取基準を理解する。										
3.	各ライフステージごとの栄養アセスメント・ケアを学ぶ。										
4.						◎	◎	◎		◎	○
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験（80%） 小テスト・発言・出席（20%）					
パワーポイントスライドによるプレゼンテーションを基本とする。 学生には、関連する資料（スライド・要点・その他）が配布される。											
準備学修						課題等への対応					
あらかじめ教科書に目を通すこと。（約30分） プリントの復習を行うこと。（約30分）						試験不合格者には課題を与えたうえで合格するまで再試験を行う。					
授業計画											
第1回	栄養マネジメントの概要、栄養アセスメント及び栄養ケアについて										
第2回	日本人の食事摂取基準										
第3回	母性栄養1. 妊娠期・授乳期の特性										
第4回	母性栄養2. 妊娠期・授乳期の栄養アセスメントと栄養ケア										
第5回	新生児期・乳児期の栄養. 新生児期・乳児期の特性、栄養アセスメントと栄養ケア										
第6回	成長期の栄養1. 成長期の特性、小児の食事摂取基準										
第7回	成長期の栄養2. 幼児期、学童期及び思春期の栄養アセスメントと栄養ケア										
第8回	成人期の栄養1. 成人期の特性										
第9回	成人期の栄養2. 成人期の栄養アセスメントと栄養ケア(1)										
第10回	成人期の栄養2. 成人期の栄養アセスメントと栄養ケア(2)										
第11回	高齢期の栄養1. 高齢期の特性										
第12回	高齢期の栄養2. 高齢期の栄養アセスメントと栄養ケア(1)										
第13回	高齢期の栄養3. 高齢期の栄養アセスメントと栄養ケア(2)										
第14回	運動・スポーツと栄養										
第15回	環境と栄養										
試験											
教科書	「応用栄養学」 江澤 郁子、津田 博子 編 建帛社				受講生へのメッセージ	栄養学Ⅰをベースに、具体的に各ライフステージの栄養評価と栄養士の介入（栄養ケア）内容を理解してください。これらの知識は、栄養士としてのキャリア選択にもつながる内容ですので、自身の適性を見つめながら学習し、自身の将来像をイメージしながら取り組んでください。					
参考書等											